

やさき

今年も牛のように力強く

鶴木自治会ふれあい活動

12月21日、鶴木自治会では、平成20年のふれあい活動を締めくくる餅つき大会がおこなわれました。

参加したのは、お年寄りから子どもまで100人あまり。「ぺったん、ぺったん」と杵の音が自治会に響きわたりました。

参加された、谷口慶明さんは、「元々鶴木は、30軒ほどだったが年々増え、3倍ほどの世帯数になった。その人たちもこうして気軽に参加して賑やかにできてうれしい」といわれます。



「つきたてはおいしい」この日は、40人あまりの子どもの参加がありました



地元の金比羅神社のしめ縄づくり、子どもたちもがんばりました



「火の用心！マッチ一本火事のもと！」20人の子どもの元気なかけ声



鶴木自治会ではふれあいサロンや盆踊り、運動会などの地域交流活動を月一回のペースでおこなっています。

25年間福祉委員をされている前田重孝さんは、「平成21年は丑年。牛のように力強く頑張っていきたい」と抱負を語ってくださいました。

(山崎支部 阿曾秀樹)

いのみや

サンタさんまたきてね

サンタクロース派遣事業



社協では、クリスマスの催しをされる市内の保育所や幼稚園等を対象に、「サンタクロース派遣事業」を実施しました。

(期間 12月15～25日)

この事業は、みなさまから

お寄せいただいた「歳末たすけあい募金」の配分事業として、申込みのあつた保育所等にサンタクロースを派遣し、子どもたちへ夢の時間をプレゼントするものです。



サンタさんがプレゼントを運んできてくれるのを楽しみにしている園児たち…
・サンタの役割は重要ですよ

一宮では2団体(市内7団体)の申込みがあり、どの会場もサンタの登場に大喜び。「わあサンタさんだ。」「サンタさんがきたよ。」「サンタさんなににのってきたん。」「サンタさんはどこからきたの。…」



緊張感の中にもあたたかい雰囲気が会場に…「メリークリスマス」

そして、サンタからのクリスマスプレゼント…

「サンタさん、ありがとう。」「サンタさん、またきてね。」

園児たちの思いを胸に、サンタは去っていきました…

クリスマスは、子どもたちにとって特別な日です。そんな夢のひと時を社協からお届けすることができました。

(一宮支部 波多野好則)